

びえい農業SDGsへの挑戦

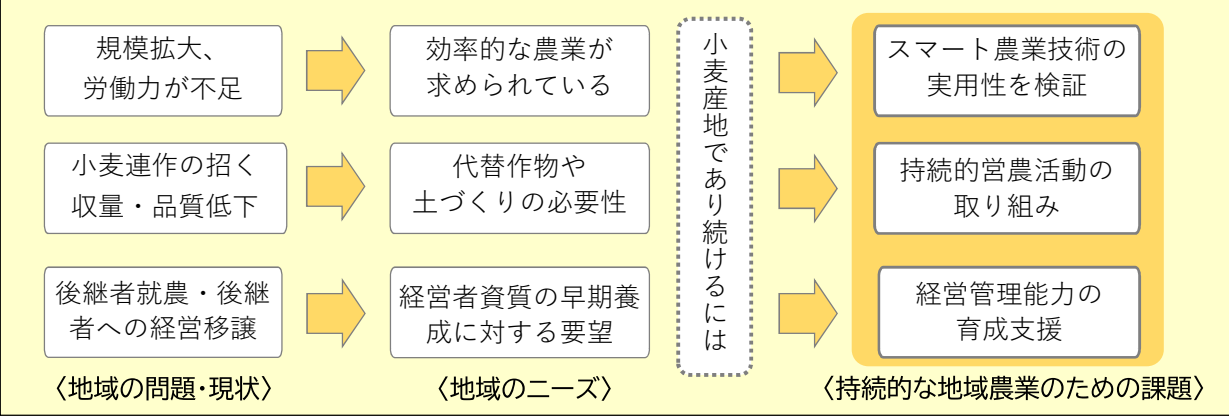
健全な小麦産地であり続けるための戦略

上川農業改良普及センター大雪山支所

活動年次：令和3～4年

1 課題設定の背景 *****

活動対象：美瑛町 赤羽地域10戸 赤羽地区：平均耕地面積41ha。水稻・畑作中心の複合経営



2 活動の経過 *****

(1) 衛星リモートセンシングに基づく小麦窒素施肥



リモセン施肥実施を推進



地区研修会で意見交換

- ◆ 農業者の声からマニュアルを作成
- ◆ タブレットを駆使して対面で操作説明
- ◆ 研修会で使用方法、改善点を意見交換
- ◆ 地域システム移行に向け事業者等と協議

低額で汎用的な衛星リモセンマップの実用性を検証(2年目)

(2) 持続的営農活動のための経営課題解決



試験内容の最終確認



は種量3水準の小麦試験

- ◆ 経営条件・要望から個別課題を設定
- ◆ 輪作改善、省力的大豆栽培法を試行
- ◆ 技術の効果、留意点を農業者と検証
- ◆ 部会研修会等で地域全体に結果を共有

持続的営農活動の提案・および結果の検証

(3) 経営解析ツールを用いた経営分析の実施



可視化した分析結果を確認



特徴的な費用を洗い出し

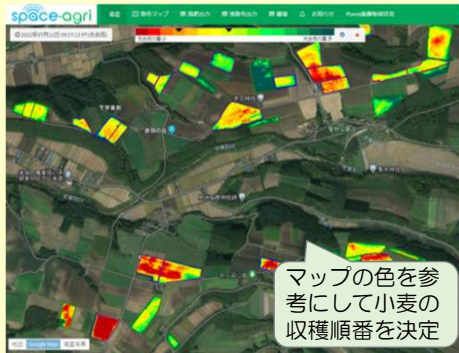
- ◆ ツールに実績を入力し分析、結果を可視化
- ◆ 分析結果の確認、作物別の特徴を洗い出し
- ◆ 改善可能な費用と技術方策を検討

後継者・若手経営者の経営管理能力習得を支援

3 活動の成果 *****

(1) 衛星リモートセンシングに基づく小麦窒素施肥

目標 7 戸/実績 3 戸(43%達成)



利用方法、良い点	2年試用してみた
◎マップの赤い部分は肥料を多めにした	□マップの色と自分の感覚が近いことがわかった
◎収穫適期早晩と概ね一致	□小麦以外の作物も見なかった
▲曇雨天続き、見れなかった	

赤羽地区の実証の結果

天候に左右されるが、施肥・収穫判断ツールとして有用

得られた成果を美瑛町全体で共有
収穫判断システムとして採用

(2) 持続的営農活動のための経営課題解決

目標 6 戸/実績 5 戸(83%達成)

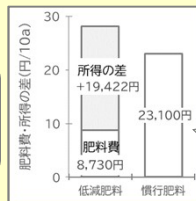
取り組み数	ねらい	具体的課題(一部抜粋)
5 戸 (11課題)	大豆省力栽培・小麦連作軽減	大豆狭畦栽培・間作小麦栽培 大豆緩効性肥料 大豆の新規導入
	栽培法の見直し	ばれいしょ施肥低減 きたほなみは種減量 ブロッコリー液肥
	土壌物理性改善	カッドレシ、モミザロー

- ◆ 5 戸が課題解決に取り組んだ(延べ11課題)
- ◆ 大豆狭畦栽培、間作小麦栽培は 2 戸に定着
- ◆ 令和 5 年度、新たに 1 戸が大豆栽培を開始
- ◆ 地区小麦連作率は 4 %減少

経営課題解決を通じて



大型コンバインをフル稼働



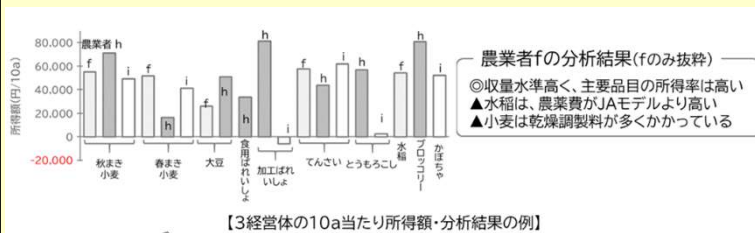
リン酸低減肥料試験の経済効果

省力的大豆栽培、小麦連作緩和で
小麦品質安定化・持続的
営農活動を後押し

肥料の見直しと減量で、ばれいしょ所得増加

(3) 経営解析ツールを用いた経営分析の実施

目標 4 戸/実績 4 戸(100%達成)



【3経営体の10a当たり所得額・分析結果の例】

経営間、年次間の比較から、
経営の強み、弱みを把握

- ◆ 1 名増えて 4 名が分析を実施
- ◆ 実績を経営間、年次間で比較
- ◆ 改善費用項目選定、栽培法見直しへ

経営実績の可視化と比較・検証

経営実績の実践的な検討から
若手農業者の資質養成

4 今後の活動 *****

(1) 衛星リモートセンシングに基づく小麦窒素施肥

- ・ 関係機関と連携し地域全域の有効利用を推進。道総研試験成績などの情報提供

(2) 持続的営農活動のための経営課題解決

- ・ 経営条件、農業者の意向を踏まえた輪作体系改善、経営改善の取り組み実施を支援
- ・ 周辺酪農場との耕畜連携、堆肥の有効利用に向けた関係者の意向聴取、意見交換を実施

(3) 経営解析ツールを用いた経営分析の実施

- ・ 分析結果から対象作物や費用を選定。具体的な栽培技術の見直しを支援